

残暑お見舞い

申し上げます

住職 奥村孝司
 前任職 奥村俊雄
 筆頭総代 加藤 弘
 ほか役員一同



伝える

住職 奥村孝司

寺報ちおんを発行して二度目のお盆がやってきました。内容はとまかく文章に表すことの大切さと大変さを感じ今日この頃です。智恩寺のホームページも、形は変わっても伝えることの難しさがそこにあります。伝達・伝言・伝記・秘伝・伝説いづれにしてもその字体から察すると人が云うことだと思います。

智恩寺にはご存知のとおり、波を彫らせた日本一！伊八の欄間が堂内を守って下さっています。「世話人當村 源五右衛門 彫工長郡下打墨住武志伊八良 信由作」と刻まれています（推定 初代伊八 江戸後期）。四月上旬、「伊八会」というファンクラブに入会しました。伊八の作品に魅せられ、後世に伝えて行かなければ

ばならないという代表の當間さんの熱意に打たれ賛同しました。登録番号83、お寺の財産でありますし、檀家としての誇りでもあります。このように代表の當間さんは我が事のように伝えていこうとしています。

温故知新といいますが、はたして私たちは自分なりに先人からの大切なものを受継ぎ、新たなものとして確かに伝えているのでしょうか。

筆頭総代様の年頭挨拶に「智恩寺の松明も先代の方々により、力強い光を添えて新しい世代への引き継がなければならない」と示唆されています。

庫裡建設にもそんな思いを肝に銘じ確かなものにして行きたいと思えます。今後とも宜しくお願いいたします。

七月を終えて

筆頭総代 加藤 弘

残暑お見舞い申し上げます。

今年の七月は観測史上記録を残す猛暑となりました。お檀家の皆様におかれましてはお変わりありませんでしょうか。日頃より、智恩寺の運営にご支援を賜りまして有難うございます。庫裡積立金も皆様より一生懸命積み立てして頂いております。計画どおり資金も増してまいりました。この場を御借りしまして御礼申し上げます。

庫裡建設につきましては、今後老朽庫裡の解体工事を早期に実現したいと思えます。そして、智恩寺へと通じる道路についてですが、大分良くなってきています。しかし、まだ狭い箇所がありますので、早く良い道路が完成し、智恩寺へお参りに行かれる際も車で気軽に出入りできる日が訪れますようお願いしております。

今後とも宜しくお願い致します。

庫裡建設経過報告

お檀家の皆様には、尊い仏行、有難く拝受申し上げますと共に引き続きご納金を御願い申し上げます。ご不明の点は、各地区の委員さんかお寺までお問い合わせください。今秋9月24日の檀家総会の席上、経過報告を予定しておりますのでご出席ください。

過去帳調査の御願い

智恩寺に伝わる檀家過去帳の整理をその都度してきました。当時の世相をその体裁から知りえる貴重かつ閲覧公開することはできない寺宝であります。明治前後～大正・昭和中期の過去帳を見ると日にち別に記載されていました。先々代である片桐住職からそれらを引継ぎ、そのスタイルを各檀家戸別にと進めてまいりました。然しながら、各お檀家にある過去帳は、100年前からの物も存在しており、お寺の過去帳を整理する上では必要不可欠なことであります。出来れば、ご尊家の過去帳を照合させていただきたく存じます。今後、法事の折や何かの御用でお寺にお越しの折は、過去帳をお持ちいただけたら幸いです。何卒、ご協力御願い申し上げます。

暮らしの中の仏教語

「四苦八苦（しくはっく）」

世の苦しみには八つあるという訳です。生・老・病・死に加えて愛別離苦(あいべつりく：愛するものとの別れ)・怨憎会苦(おんぞうえく：にくむものとのあい)・求不得苦(ぐふとく：欲しいものが手に入らない)・五蘊盛苦(ごうんじょうく：そういった欲求をおさられない)の苦しみです。

後編をお待ちしております!